

ふりがな 氏名	あらい けいた	都道府県	神奈川県	
	新井 啓太			
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> <li>相模女子大学中学部・高等部 / 教諭</li> <li>第 60 次南極地域観測隊夏隊同行者</li> </ul>			
関心・活動の SDGs	  			
私のESD活動	南極から地球と世界を学ぶ (Art & Earth & Technology)			

## 活動の概要

2018年11月から4ヶ月間、教員南極派遣プログラムとして第60次南極地域観測隊に同行し、昭和基地へ滞在してきました。60年以上続く日本の南極観測事業は、地球の過去を解明し、未来の予測に貢献しています。厳しい極域の環境下で、最先端の研究や観測、基地を守り抜く設営の仕事をやり遂げる観測隊の姿を、次世代を担う子どもたちへ届けていくことが派遣教員の役割です。気候変動、生物多様性、海の豊かさ、地殻変動、南極条約による国際協力など、ESDで扱うべき課題を全身で学びました。昭和基地と日本をテレビ会議システムでつなぐ南極授業を実施し、帰国後は小中高大や地域連携の講演やワークショップ、所属校でその活動を続けています。

美術教科とICTを担当する教員として、「つながる、学ぶ、考える、つくる、伝える」のサイクルの効果を高めるために、既存の枠に捉われない教育展開を目指しています。

教育は、特定の教室や勤務校だけで完結するものではありません。世界中で1796人が認定を受けているGoogle for Education Certified Innovatorの活動や、Google地図関連ツールをきっかけに全国の教員が刺激し合うコミュニティSensei with Google Earth Japan運営などを通じて、生徒と共に私自身も学び続けることを心がけています。現在は、教室の学びが実社会の課題解決と結びつくよう、校外パートナーとの連携を積極的に取り入れる準備に邁進中です。

・「教員南極派遣プログラム HP」 <https://sites.google.com/view/nipr-haken>

・「Google for Education/Teacher Center/エキスパートと交流」 <https://edudirectory.withgoogle.com/profiles/5734030643298304>

## 私が考える教育の未来像

Society5.0が近づき、社会の変化はこれまで以上に急速化します。一方で、教育の進化は比較できない程の時間を有することになると懸念しています。現在、進んでいる教育改革が、ゴールのような目的地に到達することはありません。グローバル化や個別最適化された学びに近づく中で、学校教育の本質を見極めていくことが重要です。子どもたちが生まれ持っている力を大切に涵養していくこと。主体的で対話的で深い学びを継続させること。社会で起きている事象を自分ごとに捉えて参画意識を高めること。教育の未来は、家庭や地域や企業などの連携が強まり、場所や時間や方法の縛りが緩やかとなって実践されていく姿をイメージしています。

## 私の強み、活かせる経験やスキル

美術教員として、クリエイティブな仕事を心がけています。デザインは世界の共通言語であり、アイデアと表現方法によってプロジェクトや教育展開の効果を高めることができます。また、メディア情報部主任（ICT、広報、図書の校務分掌）の経験から、テクノロジーの利活用を提案できます。これまでの経験で得たネットワークも、ESD日本ユース・コンファレンスへ参加することで相乗効果が生まれると期待しています。